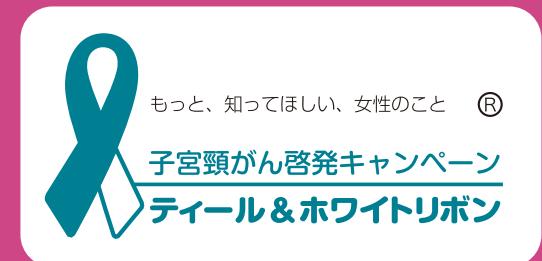


2012年

一般女性2,500名への 子宮頸がんに関する 意識調査結果

実施期間	2012.03.23～2012.05.17
アンケート回答者数	2,554人
アンケート調査方法	インターネット 協力を承諾した企業に対する郵送
協力依頼対象	首都圏の「がん検診企業アクション」加盟企業 登録アンケートモニター

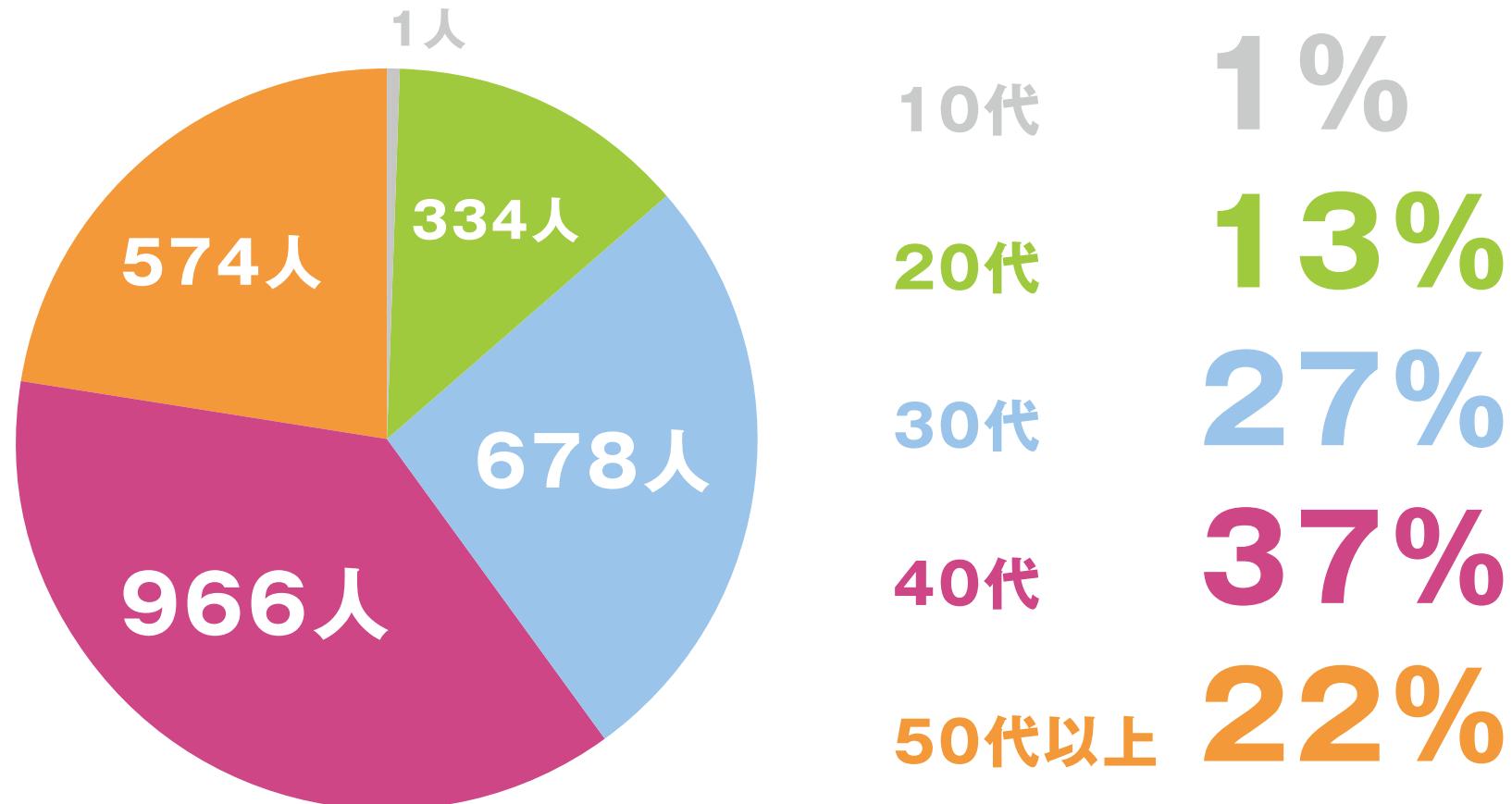
2012.May



Q01

あなたの今の年齢を教えて下さい

2012年



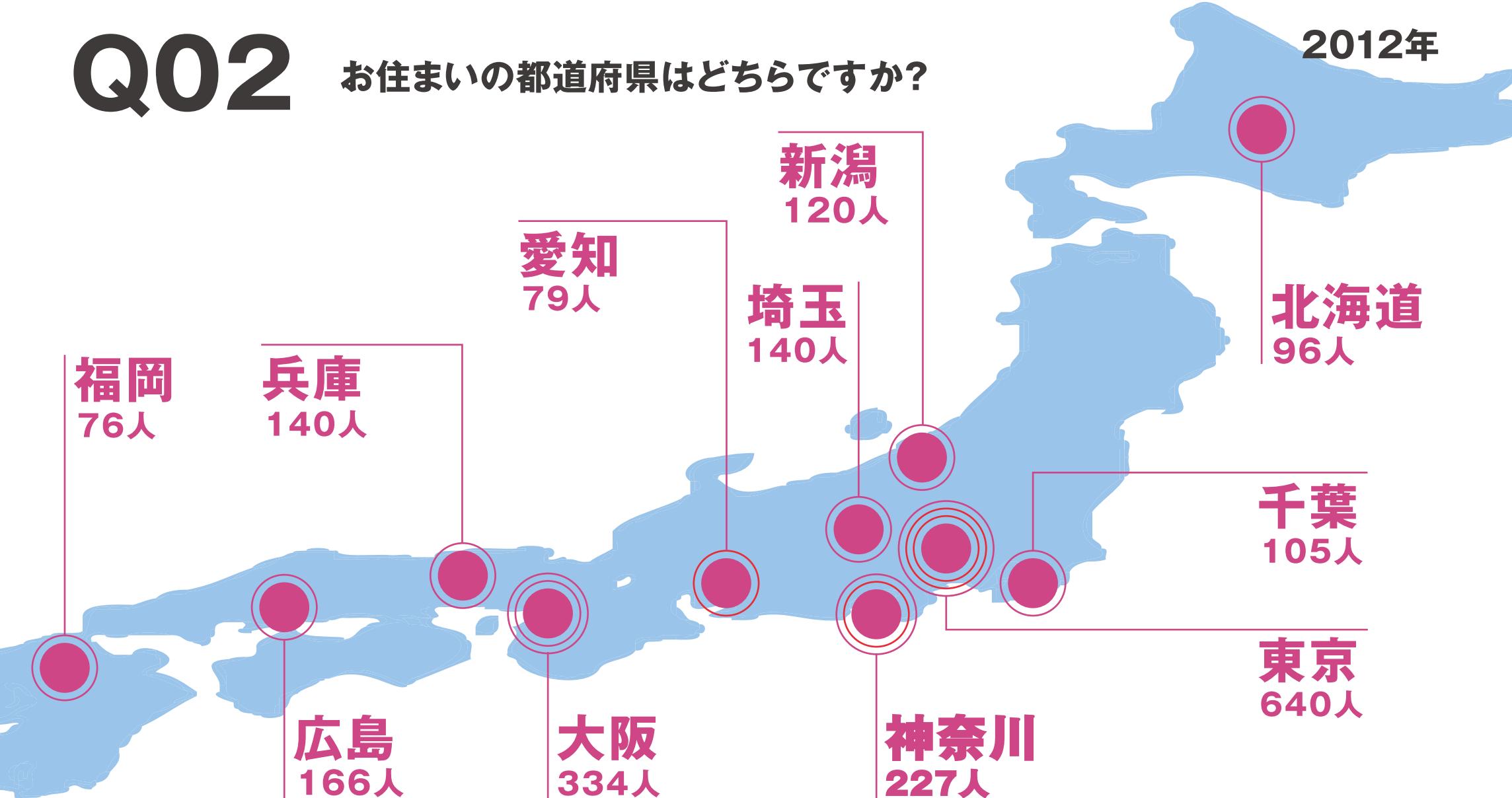
もっと、知ってほしい、女性のこと ®

子宮頸がん啓発キャンペーン
ティール&ホワイトリボン

Q02

お住まいの都道府県はどちらですか？

2012年



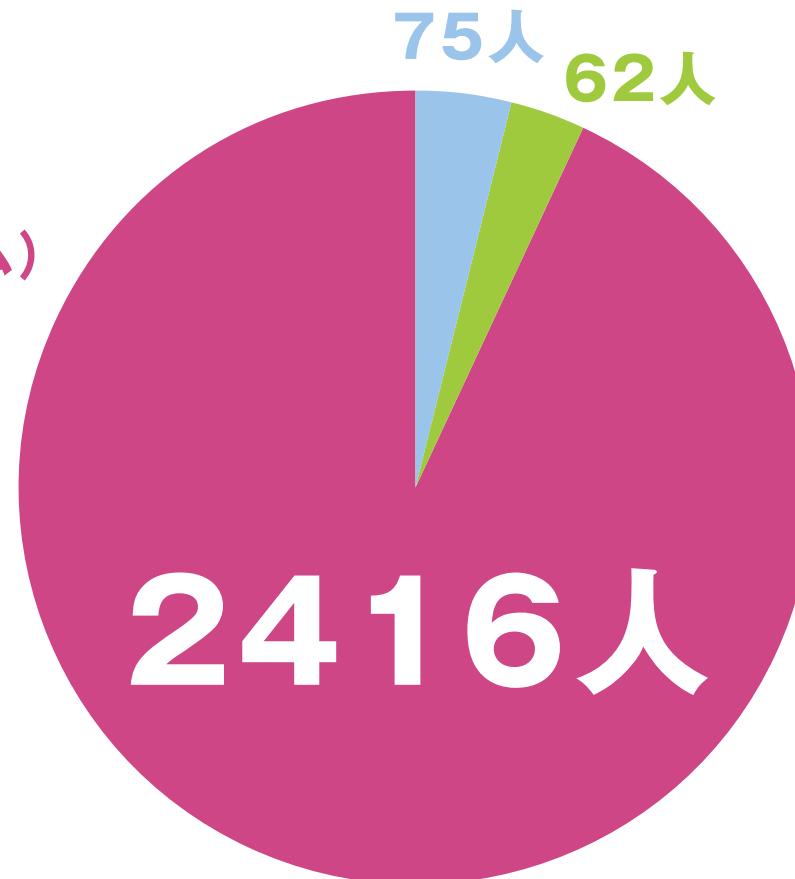
2012年

Q03

あなたのお仕事について教えて下さい。

仕事を持っている
(フルタイム・パートタイム)

95%



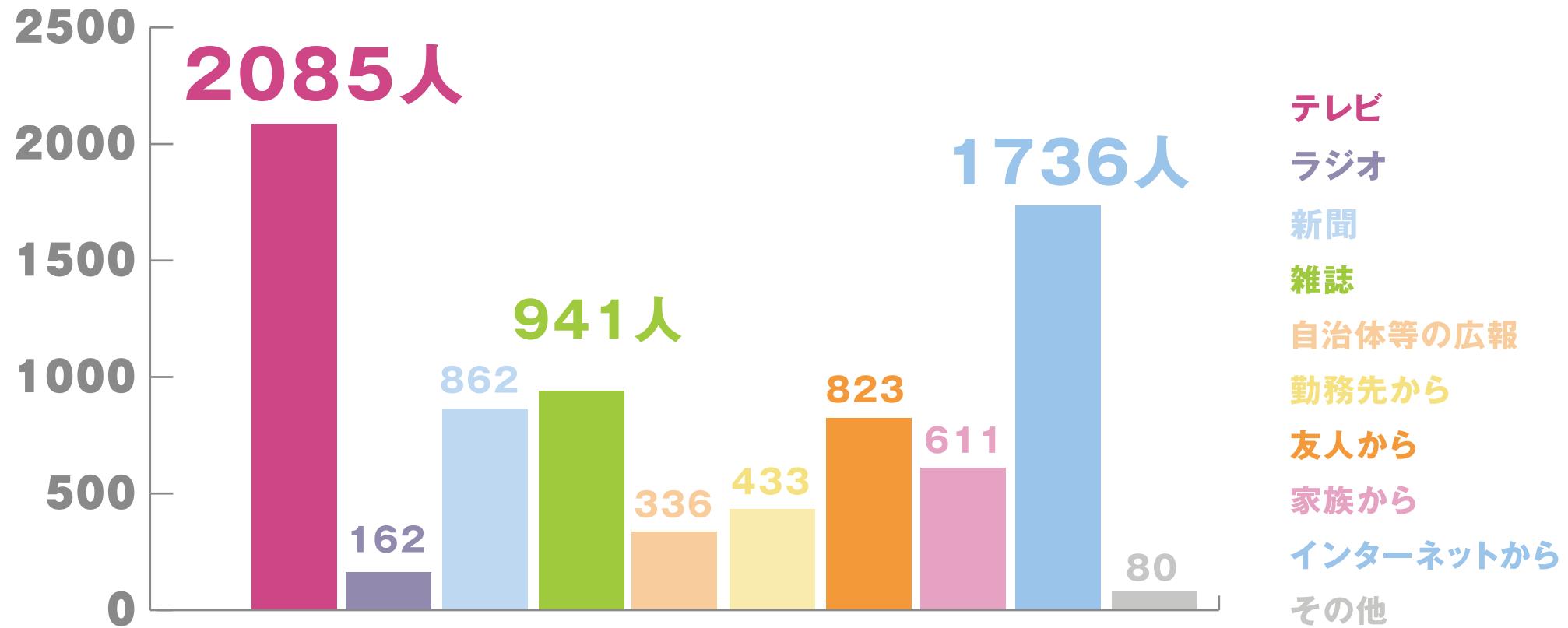
その他
3%

学生
2%

Q04

からだに関する知識はどこから得ていますか?
(上位3つを選択)

2012年



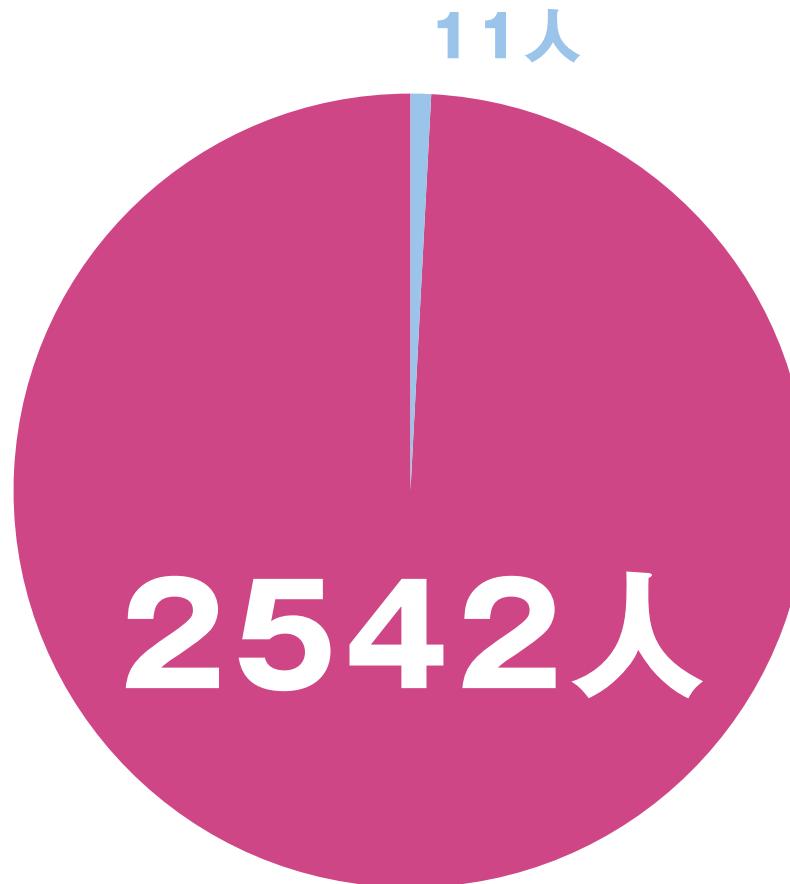
分布は昨年とほぼ同じ

Q05

あなたは「子宮頸がん」という言葉を
聞いた事がありますか？

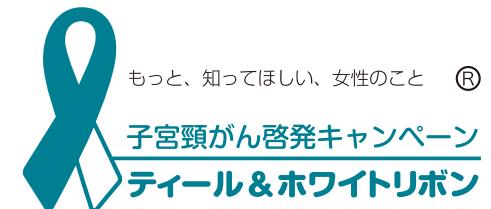
2012年

YES
99%



No
1%

分布は昨年とほぼ同じ

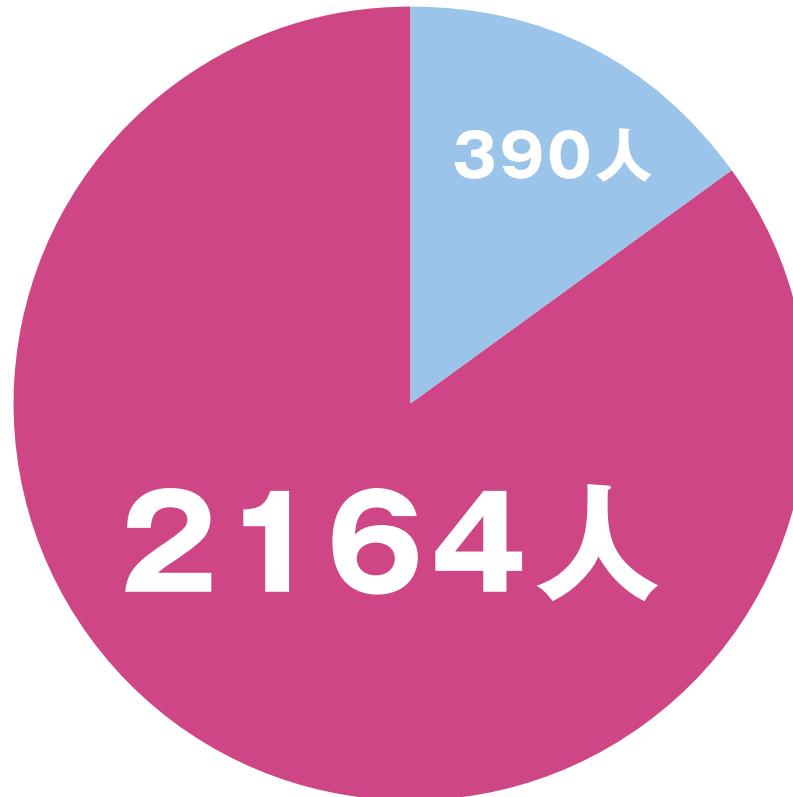


Q06

あなたは「子宮頸がん」が20歳代～30歳代の女性に
増えていることをご存知ですか？

2012年

YES
85%



No
15%

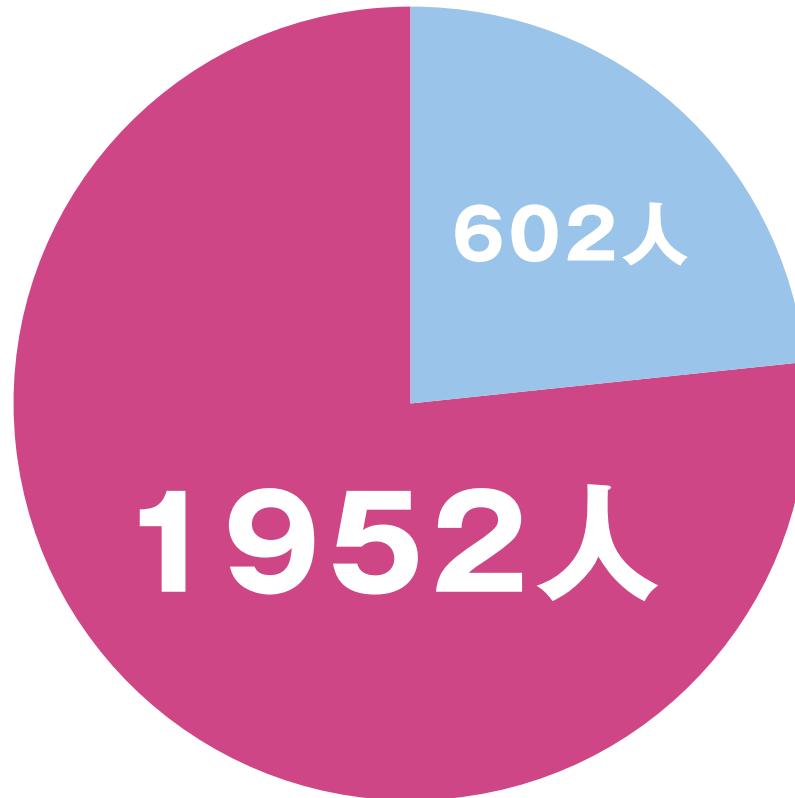
分布は昨年とほぼ同じ

Q07

「子宮頸がん」は、
唯一予防ができる「がん」であることを知っていますか？

2012年

YES
76%



No
24%

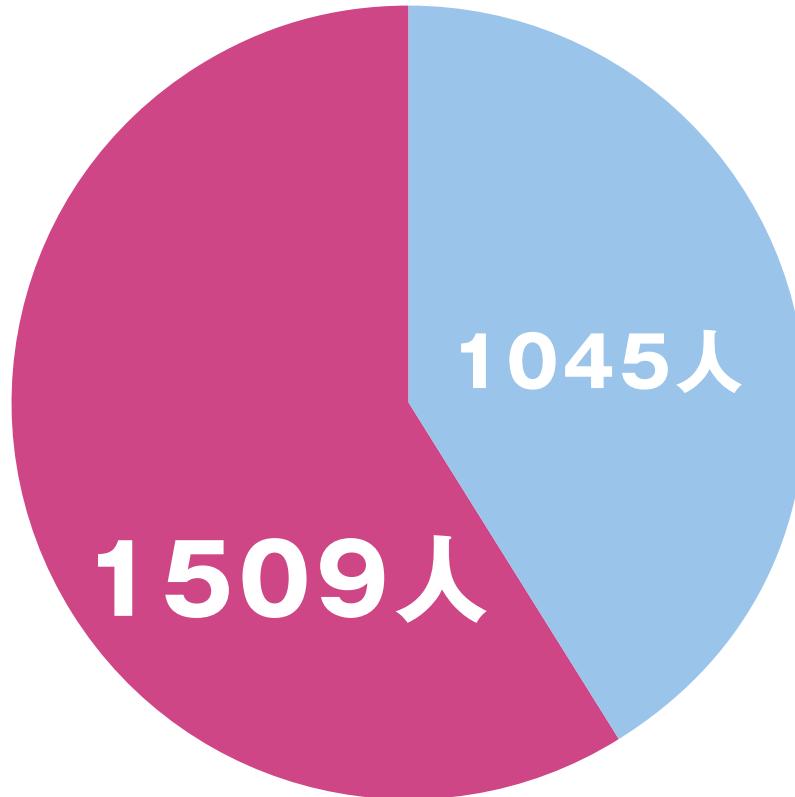
予防できるがんであることに関する認識が増えている

Q08

「子宮頸がん」発症は、
ヒトパピローマウィルス（以下、HPV）感染が
原因であることをご存知ですか？

2012年

YES
59%



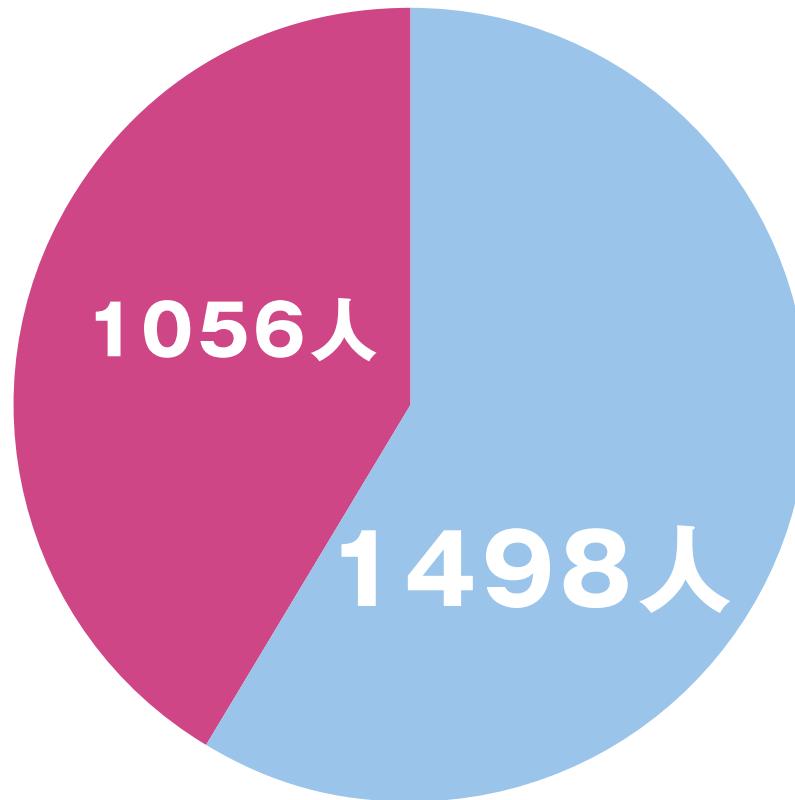
HPV感染が原因であることについての認識も増えている
(昨年は Yes 52%)

Q09

「子宮頸がん」の原因となるHPVには、
一生のうち8割程度の女性が一度は
感染する可能性があるということをご存知ですか？

2012年

YES
40%



No
60%

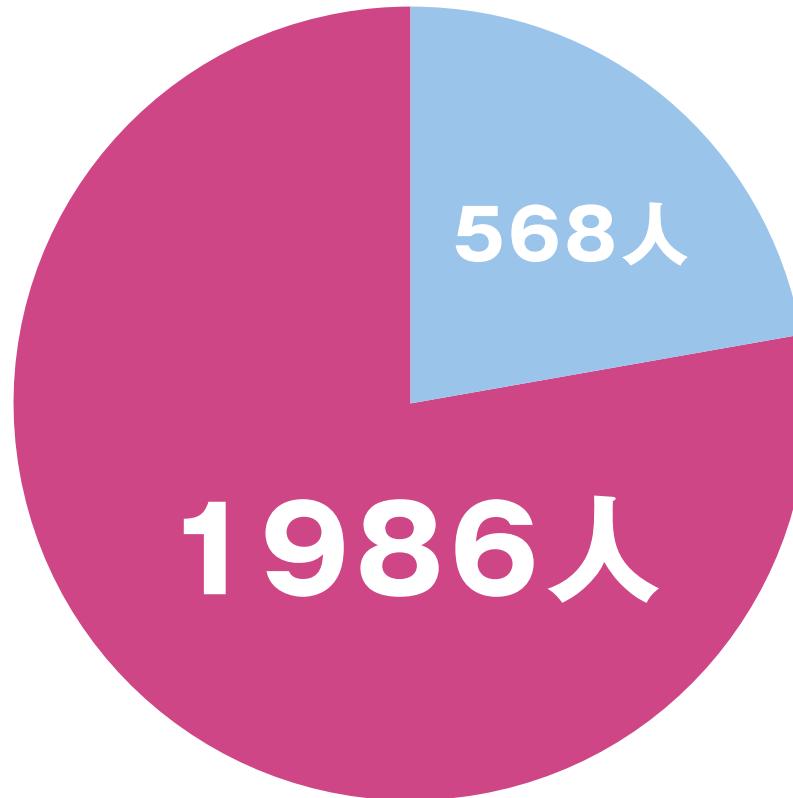
HPVが、ごくありふれたウィルスであることの認知は
若干増えているが、依然として半数以下

Q10

「子宮頸がん」の原因となるHPVの感染を
予防するワクチン(以下、ワクチン)があることを
ご存知ですか？

2012年

YES
78%



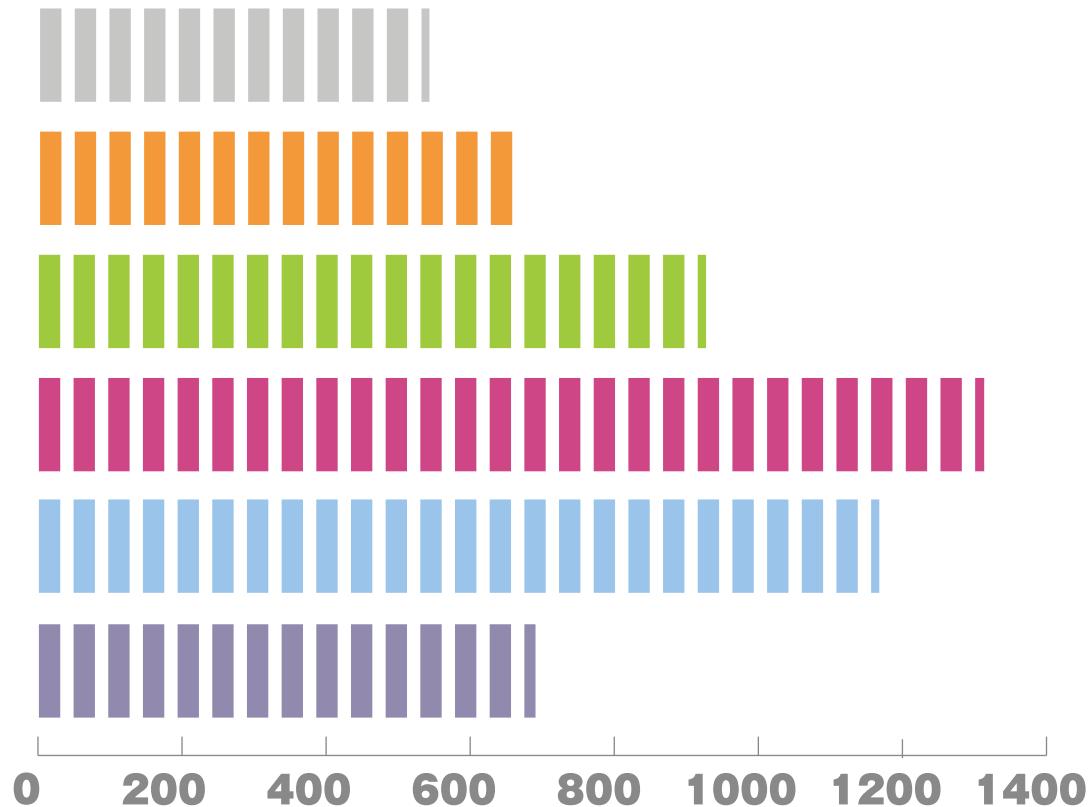
No
22%

HPVワクチンの認識は増えている
(昨年は Yes 72%)

Q11

ワクチンのことについて、
下記のなかで知っていることはありますか？(複数選択可)

2012年



分布は昨年とほぼ同じ

685人

筋肉注射である

720人

半年間で
3回接種することで効果がある

990人

5万円前後の費用がかかる

1316人

自治体によっては、
接種費用の公費助成制度がある

1184人

セクシャルデビュー(初交)前の女性が
接種するのが効果的である

660人

何も知らない

Q12

ワクチン接種を受けた場合、
何%くらい予防効果があると思いますか？

2012年



7%



8%

37%



48%



8%

ワクチン接種の効果を過信している？

Q13

「子宮頸がん」を直接検出する方法として
正しいと思うものを1つ選んでください。

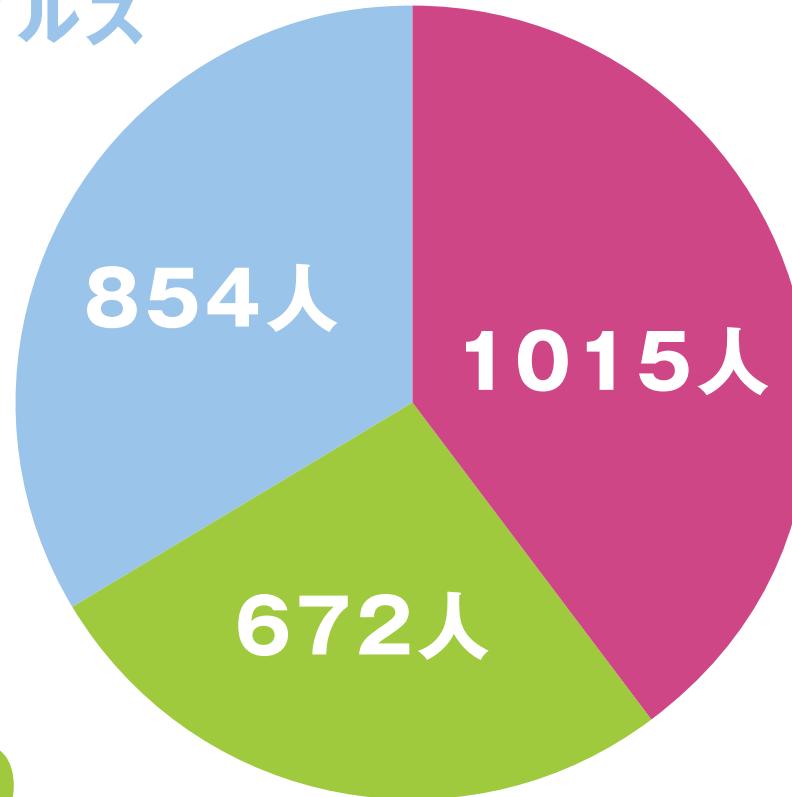
2012年

ヒトパピローマウイルス
(HPV) 検診

34%

どちらでもよい

26%



細胞診検診

40%



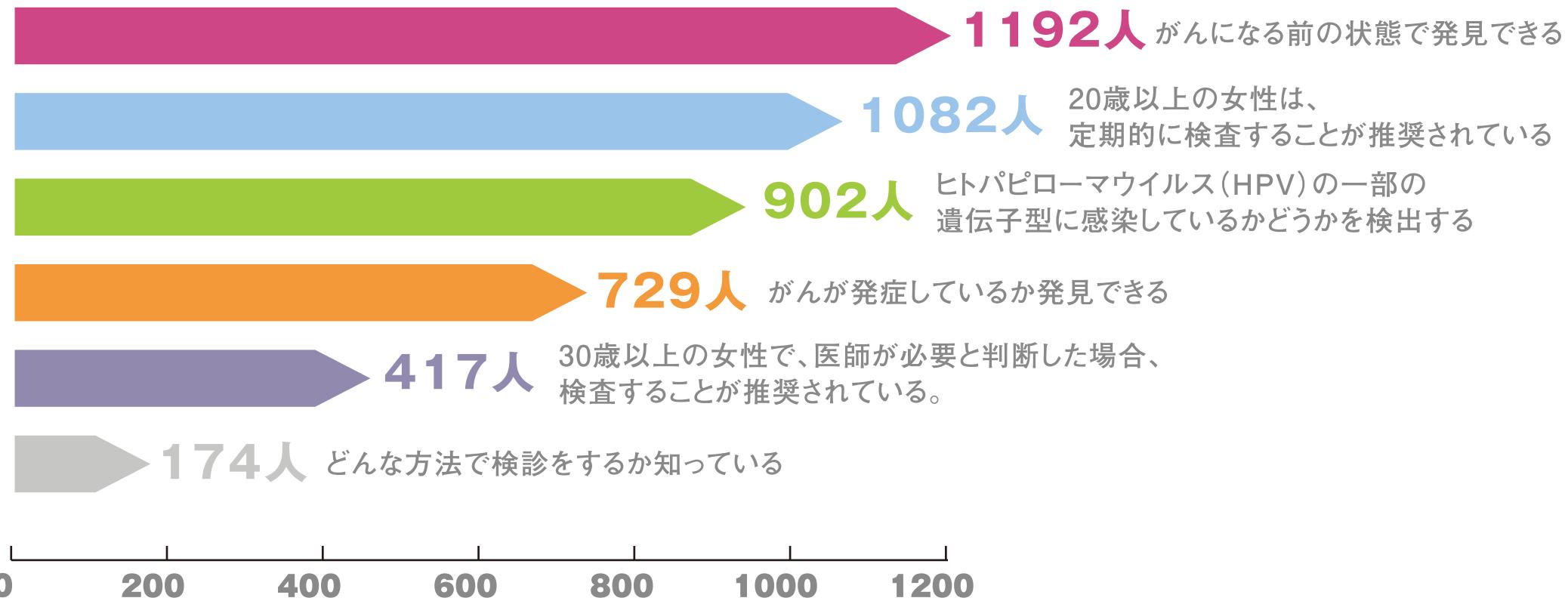
もっと、知ってほしい、女性のこと ®

子宮頸がん啓発キャンペーン
ティール&ホワイトリボン

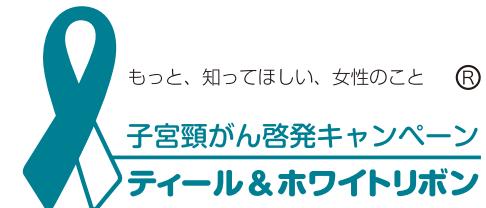
Q14

HPV検診について、
当てはまると思うものはどれですか？(複数選択可)

2012年



分布は昨年とほぼ同じ
細胞診の機能と混同がみられる



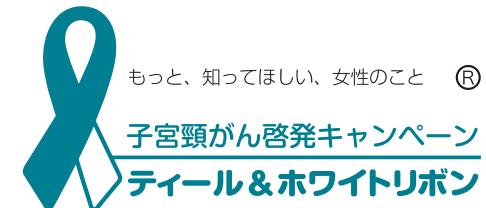
Q15

「子宮頸がん」の細胞診検診について、
当てはまると思うものはどれですか？(複数選択可)

2012年



分布は昨年とほぼ同じ

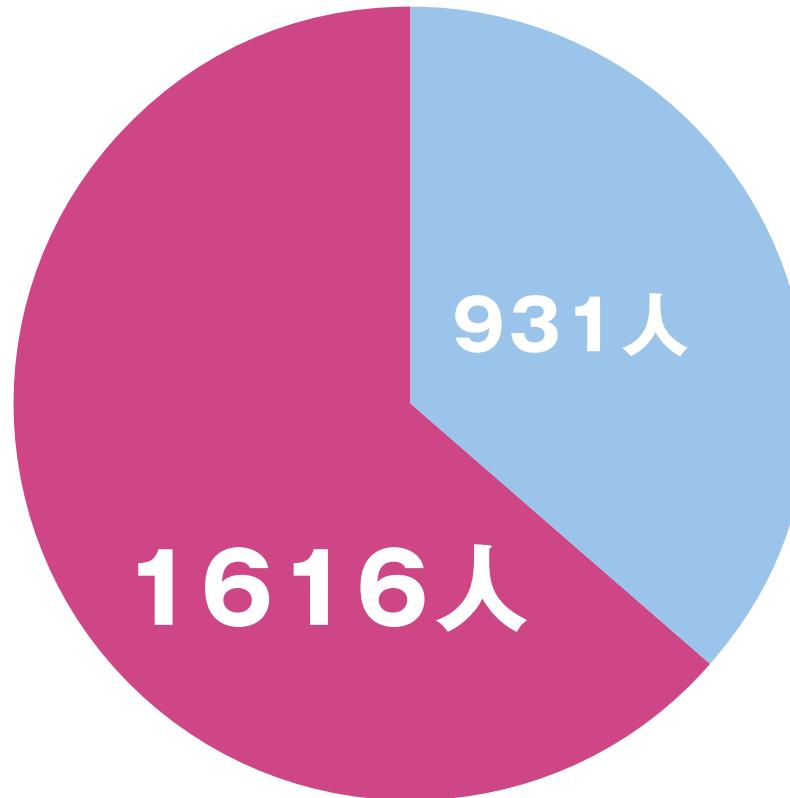


Q16

「子宮頸がん」検診を受けたことはありますか?
(郵送による自己検診を除く)

2012年

YES
63%



昨年の結果 Yes 50% より増えているが、
2年毎に受診しているかは不明

Q17

前問で「いいえ」と答えた方にお尋ねします。

2012年

「子宮頸がん」検診に行かない理由を教えてください(複数選択可)

検診費用が高いから 409人

忙しくて行く時間がないから 331人

産婦人科に行くのが、ためらわれるから 294人

どんな検診かわからないから 250人

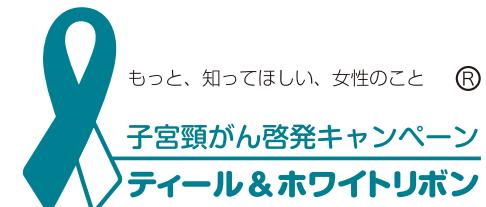
検診を受けたほうが良いと
知らなかつたから 152人

その他 107人

昨年同様、検診費用が高い、が壁?!

無料クーポン施策の続行が望まれる

就業中の女性には、受診環境の整備も重要課題



総評

「子宮頸がん」という言葉、予防できるがん、との認知は進んだが、予防のために知っておいてほしい大切なことの認知はまだ充分ではない。
今後の啓発のストーリーラインとしては、

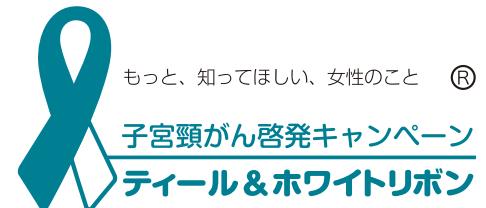
子宮頸がんの原因はHPV感染であること

HPV感染は、特別なことではないこと(誰にでも可能性があること)

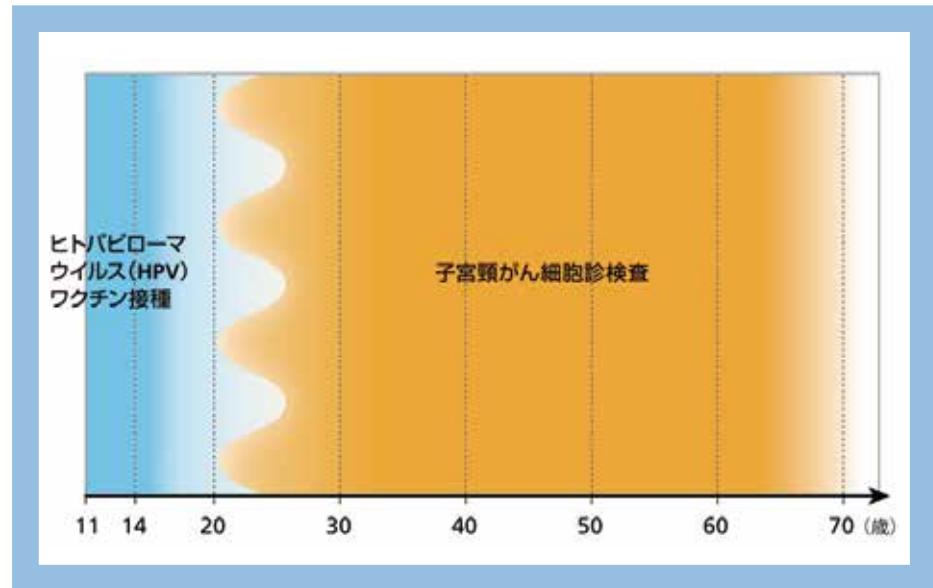
HPV感染は、ワクチンで予防可能だが、すべてではなく、60–70%であること

子宮頸がんは、細胞診による検診で、がんになる前の状態で発見できること

子宮頸がん予防のためには、最適な年齢でのワクチン接種とともに定期的な検診(細胞診検査)受診が必要であること



ティール&ホワイトリボンプロジェクトは
「予防・検診」に関するエビデンスに基づいて、
ワクチンと、検診が、
それぞれどの年代に必要であるか、
整理して提示していきます。



一般向けに、シンプルに、
「10代はワクチン接種を 20代以降は検診を」
とのメッセージを伝えていきます

2012年



もっと、知ってほしい、女性のこと ®

子宮頸がん啓発キャンペーン
ティール&ホワイトリボン

www.sikyukeigan.net